

塗料製造業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2019	6	12 ～ 14	インク製造棟内作業場のコンクリート床で、頭部から出血し、あおむけで ～ 卒倒している状態の被災者が発見された。外傷性くも膜下出血、脳挫傷、 14 急性硬膜下血腫と診断され、事故3日後に死亡が確認されたもの。	417	2	10 ～ 29
2007	3	22 ～ 23	被災者は移動槽のエプロンと呼ばれる部分の塗装作業を行うため、脚立を ～ 跨ぐ姿勢で下から3段目の踏面（高さ1.35m）に足を置いて立位の姿 23 勢で塗装作業をしていたところ、バランスを崩して床面に墜落した。	371	1	50 ～ 99
2006	12	10 ～ 11	工場内会議室において、会議の準備をしていた被災者は、会議参加者が使 ～ 用するために壁面に設置されたヘルメットホルダー付近にて転倒し、同へ 11 ルメットホルダー部品が被災者を直撃した。	418	2	100 ～ 299
2006	1	7 ～ 8	エポキシ工場において、エポキシ工場の責任者である被災者は早出し、同 7 工場内で一人で混合機を使用してエッチ材（事務机の天板の端に貼ってあ ～ る材料）の着色作業を行っていたところ、回転中の同混合機の回転軸に巻 8 き込まれ、身体全体が振り回された。その際、金属製の扉、同混合機のマ スト等に足がぶつかり被災した。	162	7	100 ～ 299
2005	9	17 ～ 18	印刷インキ製品のピッキング作業において、フォークリフトの爪に挿した ～ パレット上で、貯蔵ラックにある製品を取り出す作業をしていたところ、 18 墜落した。	222	1	30 ～ 49
2001	2	14 ～	塗料の製造工程において、円筒形・開放型の仕込みタンク(直径135cm、深 ～ さ約110cm、容量1620リットル)に原料を仕込んだのち、攪拌機で原料を混	162	7	50 ～

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210\\_30.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_30.html)に戻る。